



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社  
 コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 眞哉

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 菅野 申一

TEL 079-235-6004

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	148,718	27.0	6,476		6,694		5,850	
2020年3月期第3四半期	203,686	46.3	1,521	81.5	1,082	86.6	29	99.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 8,017百万円 ( %) 2020年3月期第3四半期 10,449百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	107.36	
2020年3月期第3四半期	0.54	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	309,772	174,180	55.2
2020年3月期	327,963	182,202	54.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 171,048百万円 2020年3月期 178,362百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.50		0.00	15.50
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	211,000	19.6	6,700		6,500		5,700		104.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 有 |
| 会計上の見積りの変更         | : 有 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	54,507,307 株	2020年3月期	54,507,307 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	16,304 株	2020年3月期	13,134 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	54,492,668 株	2020年3月期3Q	55,654,473 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

## 【添付資料】

## (目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
参考資料	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期（2020年4月1日～2020年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況で推移し、秋口からの感染再拡大が内外経済に与える影響に加え、長期化する米中通商問題等の海外経済の不確実性などにより、先行きについても予断を許さない状況にあります。

特殊鋼業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、上期の特殊鋼需要が大幅に低下し、下期に入り自動車関連を中心に回復が見られるものの、当期の特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は前年同期を大きく下回る水準となりました。

このような中、当社グループの売上高は、売上数量が新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少したことなどから、前年同期比549億68百万円減の1,487億18百万円となりました。利益面では、前期第4四半期から実施している緊急収益改善対策（役員等報酬や管理職給与の一部自主返上、雇用調整助成金制度を活用した休業の実施、残業の削減やその他経費の削減等）の効果、当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法へ変更したことによる減価償却費の減少、鉄スクラップを中心とする原燃料価格の低下等はありませんでしたが、グループ全体での売上数量の減少や鉄スクラップサーチャージの適用に伴う当社販売価格の低下などにより、経常損益は前年同期比77億77百万円減の66億94百万円の赤字、親会社株主に帰属する四半期純損益は、前年同期比58億80百万円減の58億50百万円の赤字となりました。

当第3四半期損益の概要(2020年4月1日～2020年12月31日)

(単位:億円)

	当第3四半期	前年同期	差引増減	増減率(%)
売上数量(千t)	967	1,283	-316	-24.7
(内、当社単体)	478	682	-204	-29.9
(内、Ovako)(注2)	427	526	-99	-18.9
(内、MSSS)(注2)	62	75	-13	-17.9
売上高	1,487	2,037	-550	-27.0
(内、当社単体)	711	1,067	-356	-33.3
(内、Ovako)	654	812	-157	-19.4
(内、MSSS)	70	102	-32	-31.3
営業利益	▲65	15	-80	—
(内、当社単体)	▲8	41	-50	—
(内、Ovako)	▲21	4	-26	—
(内、MSSS)	▲9	▲6	-2	—
(内、のれん償却費)	▲19	▲21	2	—
経常利益	▲67	11	-78	—
(内、当社単体)	▲5	44	-50	—
(内、Ovako)	▲24	▲0	-24	—
(内、MSSS)	▲11	▲10	-1	—
(内、のれん償却費)	▲19	▲21	2	—
税後利益(注3)	▲59	0	-59	—
のれん償却前営業利益	▲46	37	-82	—
のれん償却前経常利益	▲48	32	-80	—
のれん償却前税後利益	▲39	22	-61	—

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) OvakoおよびMSSSは、2020年1～9月期を連結

(注3) 親会社株主に帰属する四半期純利益

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

#### 鋼材事業

当第3四半期の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響による売上数量の減少などにより、前年同期比524億1百万円減の1,410億57百万円となりました。営業損益は、売上数量の減少などにより、前年同期比72億68百万円減の61億44百万円の赤字となりました。

#### 粉末事業

当第3四半期の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響による売上数量の減少などにより、前年同期比7億2百万円減の24億55百万円となりました。営業利益は、販売構成が改善したものの、売上数量の減少などにより、前年同期比23百万円減の1億34百万円となりました。

#### 素形材事業

当第3四半期の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響による売上数量の減少などにより、前年同期比39億2百万円減の94億53百万円となりました。営業損益は、売上数量の減少などにより、前年同期比6億96百万円減の5億43百万円の赤字となりました。

#### その他

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第3四半期の売上高は、前年同期比1億6百万円減の10億77百万円、営業利益は4百万円減の31百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産残高は、売上の減少等による売上債権やたな卸資産の減少、減価償却の実施による有形固定資産の減少などにより、前期末比181億90百万円減の3,097億72百万円となりました。

負債残高は、設備代金の支払いによる未払金の減少などにより、前期末比101億68百万円減の1,355億92百万円となりました。

純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上などにより、前期末比80億22百万円減の1,741億80百万円となりました。この結果、当第3四半期末におけるD/Eレシオ（純資産残高に対する有利子負債残高（現預金および関係会社預け金残高控除後）の割合）は0.27（前期末は0.27）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく低下した特殊鋼需要は、自動車関連を中心に回復しつつあります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症は、未だ世界各地で高位で推移しており、また、終息後も新興国経済の回復遅れが予想されることなどにより、今後の特殊鋼需要は、予断を許さない状況にあるとみております。

そのような認識の下、当社グループは、生産・販売が足元の水準で推移したとしても、確実に安定的な利益を計上することができる強靱な企業体質を構築するため、グループを挙げて固定費の削減、変動費コストダウンに注力し、収益力を高めてまいります。また、日本製鉄、Ovakoとの連携につきましては、引き続き、当社およびグループ会社のポテンシャルを最大限発揮し、相乗効果の早期発現を

図ってまいります。

当期の業績予想につきましては、足下の受注状況や鉄スクラップ価格の動向を踏まえ、2020年10月29日に公表した2021年3月期通期の業績予想を次のとおり修正いたしました。

2021年3月期業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:億円)

	今回予想	前回予想	対前回予想 増減	前期実績	対前期実績 増減
	通期	通期		通期	
売上数量(千t)	1,366	1,306	60	1,615	-249
(内、当社単体)	704	654	50	854	-150
(内、Ovako)(注2)	572	560	11	667	-95
(内、MSSS)(注2)	91	92	-1	95	-4
売上高	2,110	2,050	60	2,625	-515
営業利益	▲67	▲73	6	▲14	-53
(内、当社単体)	4	7	-3	36	-32
(内、Ovako)	▲26	▲33	7	▲6	-20
(内、MSSS)	▲9	▲10	1	▲9	0
(内、のれん償却費)	▲26	▲26	0	▲29	3
経常利益	▲65	▲75	10	▲15	-50
(内、当社単体)	6	10	-4	40	-34
(内、Ovako)	▲24	▲34	10	▲9	-15
(内、MSSS)	▲13	▲14	1	▲14	1
(内、のれん償却費)	▲26	▲26	0	▲29	3
税後利益(注3)	▲57	▲66	9	▲37	-20
1株当たり税後利益(円/株)	▲104.60	▲121.12	16.52	▲67.14	-37.46
のれん償却前営業利益	▲41	▲47	6	15	-56
のれん償却前経常利益	▲39	▲49	10	14	-53
のれん償却前税後利益	▲31	▲40	9	5	-36

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) OvakoおよびMSSSは、2020年1～12月期を連結

(注3) 親会社株主に帰属する当期純利益

なお、期末配当につきましては、通期の親会社株主に帰属する当期純損益が57億円の赤字となる見通しであることから、誠に遺憾ながら、無配の予定のままとさせていただいております。当社グループといたしましては、引続き収益改善対策のさらなる上積み等によって、収益の積上げを図るよう努めてまいります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(注) 業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,781	9,761
受取手形及び売掛金	44,882	45,244
電子記録債権	6,030	5,170
商品及び製品	21,582	17,979
仕掛品	34,623	28,904
原材料及び貯蔵品	22,446	22,166
未収還付法人税等	1,954	720
関係会社預け金	—	17,179
その他	4,393	3,700
貸倒引当金	△174	△200
流動資産合計	163,519	150,626
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	63,854	67,825
その他（純額）	53,032	45,274
有形固定資産合計	116,887	113,100
無形固定資産		
のれん	35,629	34,068
その他	3,590	3,634
無形固定資産合計	39,220	37,702
投資その他の資産	8,335	8,343
固定資産合計	164,444	159,146
資産合計	327,963	309,772
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,386	22,306
短期借入金	38,332	39,269
未払法人税等	389	169
賞与引当金	1,631	762
環境対策引当金	59	86
その他	27,786	20,163
流動負債合計	90,585	82,758
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	25,934	23,358
役員退職慰労引当金	69	61
債務保証損失引当金	2	3
環境対策引当金	248	301
退職給付に係る負債	13,635	15,117
その他	5,284	3,990
固定負債合計	55,174	52,833
負債合計	145,760	135,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,800	53,800
資本剰余金	51,486	51,486
利益剰余金	79,793	73,943
自己株式	△19	△22
株主資本合計	185,060	179,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	562	944
繰延ヘッジ損益	354	8
為替換算調整勘定	△2,772	△3,675
退職給付に係る調整累計額	△4,842	△5,436
その他の包括利益累計額合計	△6,697	△8,158
非支配株主持分	3,839	3,132
純資産合計	182,202	174,180
負債純資産合計	327,963	309,772



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	203,686	148,718
売上原価	177,418	134,599
売上総利益	26,267	14,118
販売費及び一般管理費	24,746	20,594
営業利益又は営業損失(△)	1,521	△6,476
営業外収益		
受取利息	110	72
受取配当金	211	91
受取貸付料	220	256
消滅時効の完成に伴う預り金振替益	—	99
その他	114	128
営業外収益合計	656	647
営業外費用		
支払利息	622	482
為替差損	335	272
その他	138	111
営業外費用合計	1,095	866
経常利益又は経常損失(△)	1,082	△6,694
特別利益		
土地売却益	—	165
投資有価証券売却益	849	70
固定資産売却益	46	—
特別利益合計	895	236
特別損失		
特別退職金	—	340
固定資産除売却損	369	232
投資有価証券評価損	—	30
投資有価証券売却損	646	—
特別損失合計	1,016	603
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	961	△7,061
法人税、住民税及び事業税	536	109
法人税等調整額	801	△880
法人税等合計	1,338	△770
四半期純損失(△)	△376	△6,290
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△406	△440
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	29	△5,850

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△376	△6,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△596	382
繰延ヘッジ損益	82	△346
為替換算調整勘定	△6,172	△1,146
退職給付に係る調整額	△3,367	△594
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	△22
その他の包括利益合計	△10,073	△1,726
四半期包括利益	△10,449	△8,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,902	△7,311
非支配株主に係る四半期包括利益	△547	△705

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法につきましては、これまで主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループは、スウェーデンのOvako Group AB等の子会社化により、定額法を採用する海外子会社のグループ内における重要性が高まっていることを受け、当社グループ会計方針統一の観点から、当社および国内連結子会社が採用する償却方法について、あらためて検討することといたしました。

その結果、当社および国内連結子会社が使用する設備は、これまでの稼働状況や計画予防保全の実施状況等からみて、今後も安定的に稼働するとみられることや、それら設備を使用して製造される製品や設備自体について、市場環境や技術の変化によって早期に陳腐化するリスクが小さいとみられることなどから、費用の配分方法としては、従来の定率法よりも定額法の方が設備の使用実態をより適切に反映することができると判断いたしました。

また、当社において第2棒線工場ボトルネック解消投資を中心とする生産構造改革投資による設備の本格的な稼働開始時期に合わせて、第1四半期連結会計期間からの変更といたしました。

これにより、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失はそれぞれ1,359百万円減少しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	187,083	3,157	13,355	203,596	89	203,686	—	203,686
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,375	—	0	6,375	1,094	7,470	△7,470	—
計	193,459	3,157	13,355	209,972	1,183	211,156	△7,470	203,686
セグメント利益	1,124	157	153	1,435	36	1,472	49	1,521

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	136,707	2,455	9,452	148,616	102	148,718	—	148,718
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,350	—	0	4,350	975	5,325	△5,325	—
計	141,057	2,455	9,453	152,966	1,077	154,044	△5,325	148,718
セグメント利益 又は損失(△)	△6,144	134	△543	△6,553	31	△6,521	45	△6,476

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)に記載のとおり、当社および国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、従来、主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間において、「鋼材事業」で1,265百万円、「素形材事業」で70百万円のセグメント損失がそれぞれ減少しており、「粉末事業」で22百万円、「その他」で1百万円のセグメント利益がそれぞれ増加しております。

## 参考資料

## 2021年3月期 第3四半期決算発表

## 1. 当第3四半期の業績と通期の予想

(単位：千t、百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減	増減率	通期	前期	増減	増減率
	(実績)	(実績)			(予想) (※)	(実績)		
売上高	148,718	203,686	△54,968	△27.0	211,000	262,452	△51,452	△19.6
営業利益	△6,476	1,521	△7,997	—	△6,700	△1,417	△5,282	—
経常利益 (ROS)	△6,694 (△4.5)	1,082 (0.5)	△7,777 (△5.0)	—	△6,500 (△3.1)	△1,521 (△0.6)	△4,978 (△2.5)	—
(内、単体)	△539	4,443	△4,982	—	600	3,978	△3,378	△84.9
(内、Ovako)	△2,412	△13	△2,399	—	△2,400	△897	△1,502	—
(内、MSSS)	△1,106	△972	△134	—	△1,300	△1,360	60	—
(内、のれん償却)	△1,920	△2,133	213	—	△2,600	△2,941	341	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△5,850	29	△5,880	—	△5,700	△3,717	△1,982	—
売上数量	967	1,283	△316	△24.7	1,366	1,615	△249	△15.4
(内、単体)	478	682	△204	△29.9	704	854	△150	△17.5
(内、Ovako)	427	526	△99	△18.9	572	667	△95	△14.3
(内、MSSS)	62	75	△13	△17.9	91	95	△4	△4.2
設備投資	8,192	14,259	△6,067	△42.5	14,000	27,553	△13,554	△49.2
減価償却費	10,440	10,989	△549	△5.0	14,000	15,033	△1,034	△6.9

(※) 予想(1月以降)の主要前提：鉄スクラップ(姫路地区H2市況) 41.0千円/t、原油(ドバイ)60\$/BL、為替 105円/\$、125円/€

(参考) 四半期業績推移

(単位：千t、百万円、%)

	2020年3月期					2021年3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
売上高	77,228	68,863	57,594	58,766	262,452	53,042	44,118	51,557
営業利益	2,450	167	△1,096	△2,939	△1,417	△1,156	△2,734	△2,585
経常利益 (ROS)	2,296 (3.0)	△62 (△0.1)	△1,151 (△2.0)	△2,603 (△4.4)	△1,521 (△0.6)	△1,766 (△3.3)	△2,190 (△5.0)	△2,737 (△5.3)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,788	△409	△1,349	△3,746	△3,717	△1,465	△1,844	△2,540
売上数量	479	423	381	332	1,615	335	292	340
(内、単体)	255	207	219	172	854	137	135	206
(内、Ovako)	196	191	139	141	667	173	147	107
(内、MSSS)	28	25	23	19	95	25	10	27

## 2. 当第3四半期の経常利益増減要因(対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 原燃料価格	39	1. 販売数量	71
2. 固定費	23	2. 販売価格・構成	42
3. 変動費のコストダウン	4	3. 修繕費	2
4. のれん償却額	2	4. 諸資材・外注、物流費等	1
5. 営業外損益	2	5. 連結子会社利益	32
計(A)	70	計(B)	148
		差引(A) - (B)	△78